

議会運営委員会

(◎)澤田 勝巳、長田 淳、安江美代子、舟橋 秀和、加藤 晶子
玉井 宰議長

5月13日(月)

福井県越前市

議会の活性化

モニター制度で議会活性化

目的・理由

市民の声を聴く議会モニター制度・タブレットの活用等の取組等を調べ、広聴体制をはじめ、議会の活性化を図るため。

視察項目概要

●議会モニター制度

市民と語る会への参加者の減少・固定化の対策として、常設版として開始。モニターの役割は、議会の傍聴や議員との意見交換等を行う。議会はモニターの意見を議会活動に反映。

●タブレット端末の活用

議員の調査活動円滑化のため、最低限の禁止事項を決め、通信制限を設けないこととした。通信費比率は公費50%・政務活動費25%・私費25%。通知文・資料・議場配付物はタブレットで、予算書・決算書は紙で配付。

意見・考察

議会モニター制度は各分野で活躍する人の意見を聴ける可能性があり、本市でも検討が望まれる。タブレットを利用した文書の電子化は、できるものから取り組む必要がある。また、議員の円滑な調査のために適切な通信費の按分も考えていきたい。

5月14日(火)

滋賀県東近江市

議会BCCP

議会BCCPに基づいた訓練を

目的・理由

災害発生時に、議会BCP(※3)に基づき議員がどのような行動をとるべきかを認識するため。

視察項目概要

●議会BCCPの概要

大災害の発災後に、議会災害対策会議を設置し、対策会議のメンバー以外の議員は地域での活動を優先して、地域の情報を対策会議へ報告すること。

●議会BCCPに基づく訓練・研修

議会BCCPの内容を検証・点検し、より実効性のあるものとするため、また、危機管理意識を高めるため、議会災害対策会議の設置、安否確認、参集の訓練を実施。

意見・考察

安否確認訓練・参集訓練は難しいものではなく、本市議会でも行うことができ、行う必要もある。これにより、議員の危機管理意識を高め、本市議会のBCPの検証を行っていきたい。

